

初めて人工授精（AIH）を受ける方へ

**人工授精の実施に当たり、医師が指示した日程で
ご希望の時間を受付窓口にてお伝えください。**

人工授精の受付時間 ※通常の診察受付とは異なります。

☆午前 … 8：30～10：45

☆午後 … 14：00～15：00

30分毎の受付時間となります。

※当日、予約時間までに受付が無い場合は順番が前後する場合があります。

- ・受付ではご希望の時間帯を伺うだけとなります。日程の変更は院長にご相談ください。
- ・受付では質問をお受けすることができません。質問は院長に直接お願いします。
- ・当日は診察状況などにより長時間(最大3時間ほど)お待たせする可能性があります。ご了承ください。
- ・当日のキャンセルや予約時間の変更は早めにご連絡ください。
- ・精液採取は受付予定時刻から2時間前の間にお願いします。

当院では学会の会告をもとに、事実婚カップルについても人工授精を行っております。ただし、戸籍謄本及び住民票を提出していただくなどの条件がありますので、詳しくはホームページの「不妊治療を希望される未入籍(事実婚)のカップルの方へ」をお読みください。受付にも案内をご用意しております。

※人工授精当日にご主人不在などにより精液を採取出来ない場合には、事前に精子凍結を行い、凍結精子を使用した人工授精を行うこともできます。ただし、精子凍結を行う場合は事前予約が必要となりますのでお早めにスタッフにご相談下さい。

当日ご用意いただくもの

- ご夫婦の保険証・診察券
- 基礎体温表
- ナプキンを付けたショーツ
- 料金 総額約 17,000 円 (税込み)

※再診料や注射、処方箋などの料金も含まれています。院外処方のため薬代が別途かかります。

医療法人社団ともみ会
高橋レディースクリニック

～当日の流れ～

① 精液採取

○採取

コンドームは使用せず、当院でお渡しする採取容器に直接採取してください。その際ご主人様に採取時間や精液の取りこぼしがないかご確認ください。採取後2時間以内に採取容器を体温程度に保温した状態(ブラジャーやポケットの中など)でお持ち下さい。

※院内での採取はできません。

○禁欲期間

禁欲期間は1～7日間（1～2日間推奨）が理想的です。精液検査の結果が基準値以下の場合や、タイミングや人工授精を何度行っても妊娠されない場合は禁欲期間を2日以下に短くすることをお勧めします。学会においても、禁欲期間が2日以下の場合では総精子数は減少するが妊娠率が高まったという報告があります。

○採取容器への記入（図1参照）

ラベル…ご夫婦のお名前、採取した時間、禁欲期間

フタ …ご夫婦のお名前

※採取容器への記名がない場合、取り違い防止のため提出された精液を使用できなくなります。必ず提出前にご確認ください。



図1

② 受付

来院後は受付窓口で番号札をお渡しします。受付では採取容器を提出せず、胚培養士が呼びするまで待合室でお待ちください。

③受け取り

胚培養士が番号で呼びしてリラクゼーションルームへご案内いたします。採取容器をご提出いただき、お渡する試験管に図 2 のように、フタと側面に奥様のお名前をカタカナフルネームでご記入ください。

※取り違い防止のために読みやすい字で大きくはっきりと、
ご自身のお名前が分かるようにご記入ください。



図 2

実施日： 年 月 日	様 A I H 回目
処理担当者：	
①私はAIH用試験管に氏名を記入し、持参した容器の精子をその試験管に移す操作を確認しました患者様サイン ①	
調整液 (アイソレイト)	
☆処理前の原精液	基準値
精液量： ml	1.5ml以上
精子濃度： $\times 10^6/ml$	$15 \times 10^6/ml$ 以上
運動率： %	40%以上
正常形態率： %	4%以上
粘性：(なし・ややあり・やや高い・高い)	
特記事項：	
☆処理後の精液	
精子濃度： $\times 10^6/ml$	運動率： %
②私は調整された試験管が①のものであることを確認し自分の夫の精子であることに同意しました患者様サイン ②	

人工授精報告書

精液を採取容器から記名済みの試験管へ移す操作をご確認いただき、左記の人工授精報告書の

サイン欄①にご確認の署名をいただきます。

精液は処理前に精液量、精子濃度、運動率、正常形態率を算出し、処理後は精子濃度、運動率を算出します。

検査結果は人工授精報告書の**青枠内**に記入してお渡します。

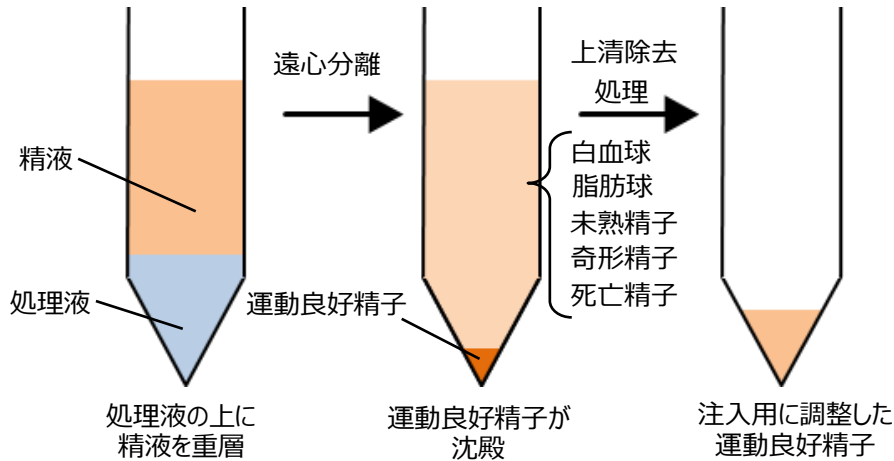
検体提出後は内診室へご案内するまで待合室でお待ちください。診察状況により長時間お待たせする可能性があります。戻られた際は受付にお声掛け下さい。

精液の取り扱い、取り違い防止対策について

当院では胚培養士が精液の操作、管理を行っています。ご記名いただいた試験管 1 本のみで操作を行うため、他の患者様の精液と混ざること是一切ございません。取り違い防止対策として採取容器や試験管にご記名いただきます。また、採取容器から試験管に精液を移す操作の確認や、精子注入前にお見せする試験管のお名前確認についてそれぞれご署名いただきます。**採取容器や試験管にご記名が無い場合、取り違い防止のため提出された精液を使用できなくなりますのでご注意ください。**採取容器を提出される際には患者様自身でも記入漏れがないかご確認ください。取り違い防止にご協力をお願いいたします。

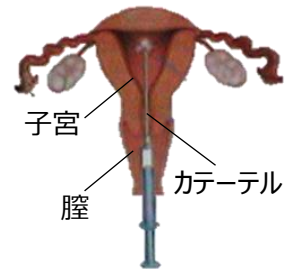
④ 精液の処理方法

処理液の上に精液を重ねて遠心分離を行うことで、精液中から運動良好精子を回収することができます。



⑤ 精子注入

人工授精は内診台で行います。内診室に入室後、お持ちいただいたナプキン付きショーツをスタッフにお渡しください。院長がカーテン越しにご記名された試験管をお見せします。ご自身のお名前を確認後、人工授精報告書の「サイン欄②」にご確認の署名をいただきます。精子の注入は専用の細長いカテーテルを用いて行います。



⑥ 注入後

注入後は内診台からストレッチャーに移っていただき、ベッドへ移動となります。ベッドでは腰枕をして20分間安静となります。その後、排卵を確実にするためにホルモンの注射(HCG)を行います。ただし、前日にHCG注射を行った場合は当日の注射は不要です。感染症予防のために内服薬(抗生物質)の処方箋が出ます。必ず服用してください。抗生物質によるアレルギーの既往のある方は事前に院長まで申し出てください。次回の診察は2日後または3日後となります。

⑦ 妊娠判定

人工授精後の生理予定日から2週間経過しても月経が来ない場合、妊娠の可能性がありますので当院を受診してください。残念ながら月経が来てしまった場合は月経開始から5日以内に受診してください。

※市販の妊娠検査薬を用いて妊娠判定を行い、陽性となったために産科を受診する方がいらっしゃいます。人工授精による妊娠は、妊娠後の対応が自然妊娠と異なります。適切な対応を行うためにも当院で妊娠判定を行うようお願い申し上げます。